

# ふみびと

第314号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

## 特別なひととき 私だけの時間

### 小さな幸せ

いつもは目覚ましをかけて何とかが起きているのに、なぜかいつも起きるのと同じ時間に目が覚める休日の朝。もう少し布団の中でまどろんでいられる、週に二日の贅沢な時間。

「今日は何をしようか」「お昼は何を食べようか」そんなことをゆっくりと考え、掃除や洗濯をしながら迎える昼。いつもよりゆったりと流れる時間を、噛み締めるように過ごすそのひと

ときがほんの小さな幸せ。宝くじで大金が当たったり、プロポーズが成功したりするような、人生を変える大きな幸せは滅多にあるものではないけれど、そんな小さな幸せが、毎日の生活を「幸せな日常」にしてくれているような気がします。

ある人はダイエット中に一度好きなだけ好きなものを食べてみたり、またある人は普段節約して欲しかったものを買ったり。他の人から見たらな



んてことのない些細なことでも、日々頑張っている中で、「特別」なひとときになっているのなら、とても素敵なこと。月に一回届く手紙の封を切る瞬間もそんな「特別」なひとときであったら嬉しいことです。

初めて送ってくれた人からの手紙を開ける時のドキドキ感や、いつも送ってくれる人からの手紙の文字を見た時の安心感。それを感じられる「特別」

### 手紙もいいね

学生時代の友人から珍しく手紙が届いた。年賀状を読み近況を語り合いたくて連絡をくれたとある。メールでも思っただけで、以前手紙好きだと話したことを覚えていてくれて、手紙をくれたということだった。

もこれも心が温かくなる。特に「久しぶりに書いたけれど、手紙もいいね」の言葉に、頷きながら

セットを買おうかなどと考えて、ワクワクする。この書くまでの時間を楽しむのも、手紙の素晴らしさだ。ネットならば一瞬ですむことに手間ひまをかけてそれを楽しむ。返事に書きたいことはたくさんあるけれど、「やっぱり手紙もいいでしょう」という言葉は、必ず書きたいと思う。

何気ない会話を覚えてくれていたこと、友人が書いた文字、どれ

た心のまま、返事の文面をあれこれと思い浮かべる。新しいレター

### 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ事務所の返信筒にそのまま入れてください。事務局封下まで交流ありません。



### お知らせ

2月の発送日

2月の発送は、13日と27日の予定です。送りたいお手紙がある場合にはそれぞれ3日前（10日、24日）までに事務局に到着することをあ近くの郵便局で確認の上ポストに投函してください。

### 今年の目標

#### 言葉の冊子

前回募集しました毎年恒例イベント「言葉の冊子」今年の目標の投稿の締切日は2月10日です。ホームページ上への掲載は2月15日頃を予定しておりますので、ぜひご覧ください！

